Shimantogawa Monogatari 第152章 通信日● 2009 年 6月 25日

〈送信者〉

財団法人 四万十川財団

TEL: 0880-29-0200 FAX: 0880-29-0201

E-mail: office@shimanto.or.jp URL:http://www.shimanto.or.jp

## 四万十川上流 梼原町、"生きものに優しい低炭素なまちづくり" 宣言!

清流通信読者の皆様こんにちは!今月6月は環境月間です。 今回は四万十川上流域 梼原町から『CO2 削減&吸収の話』です。

## ◆ 生きものに優しい低炭素なまちをつくる為に

四万十川最大の支流梼原川の流れる梼原町は、四方を森林に囲 まれた人口 4,000 人ほどの小さな町で、総面積 236 kmの 91% にあたる 210 kmが森林という、緑あふれる美しい町です。 この町 梼原では、町の将来像を描いた梼原町振興計画に「森林 と水の文化構想」として『環境・教育・健康を3本柱としてまち づくりを行うこと』を掲げ、地域資源を活かした環境の里づくり を進めています。



梼原川の落差工を利用した小水力発電所。(正面からの全景)

◆ CO2 削減プロジェクト◆ 梼原町はこの3月、"生きものに優しい低炭素なまちづくり"宣言(注\*1)をしました。そして現在、この宣言に基 づいた様々な取り組みが進行中ですが、その中でも風力発電や木質バイオマスなど、新エネルギー導入による地球温暖 化防止への貢献と循環型のまちづくりに力を入れ、産業・業務・家庭部門での電力自給率 100%を目指しています。



発電所左岸には魚道が確保されている。

皆様は小水力発電という言葉を聞かれたことがあるでしょうか? これは、水力発電の中でも数十 kW~数千 kW 程度の比較的小規模な発電(一般 的には 2,000kW 以下)の総称として用いられ、小さな水の流れを利用して自然 生態系に大きな負荷を与えることなく発電をする仕組みです。

例えば梼原町に先頃建設され、この春より稼働している小水力発電所。梼原 中学校下の梼原川の落差工(有効落差 6.07m)を利用した、最大出力 53kw の ミニ発電所です。ここで発生した電気は、昼間は発電所横の梼原中学校に供給さ れ、夜間は町中の街路灯(82 灯)に供給されています。また、余剰電力は四国電 力に売電され、今年のように雨が少ない場合の不足分は逆に購入するシステムを とっています。

## CO2 森林吸収プロジェクト

CO2 排出量との相殺関係にある"吸収源"としての「森林の役割」。森林資源が 豊かな梼原町は、森林の公益的な機能を発揮する森林づくりを行うことを目指して います。具体的には、間伐等による森林の整備で、風力発電から得られた売電収益 を森林づくりに活かす「水源地域森林整備交付金事業」などがあげられます。また 2000年10月、梼原町森林組合は団体としては国内で初めて国際森林認証FSC (注\*2)を取得し、森林経営の安定や雇用の確保に力を入れています。



近年、地球温暖化などの地球規模の環境問題が課題となっており、世界・日本の各地で環境に対する取り組みがその 大きな輪を広げつつあります。そして今ここ梼原町でも、持続可能な地域づくり、町民の暮らしと自然が共生出来る循 環型社会を目指す、地域を挙げてのその取り組みが始まっています。

私たちは、「地球は将来世代からの借り物であり、将来世代が安心して暮らせるか否かは、我々の行動にかかってい る。」という認識を忘れることなく、自然の生態系に配慮した「資源循環と地域活力の持続とが調和した低炭素社会」 をつくります。("生きものに優しい低炭素なまちづくり"宣言より)

(注\*1)"生きものに優しい低炭素なまちづくり"宣言・・・梼原町ホームページ参照 http://www.town.yusuhara.kochi.jp/ (注 \* 2)FSC の森林認証制度・・・国際的な審査機関である森林管理協議会 FSC(Forest Stewardship Council:本部ドイツ)では、環境に配 慮した適切な森林管理を進めるため、環境団体、木材関係者などと協議し、適切な森林管理に関する原則と規準をつくっている。また、こう した森林を認証し、認証した森林から生産される木材に FSC マークをつけ販売することで製品の信頼性を保証する仕組み。